

Save The Tropical Forests



森の通信

2005.7.3



▲原生林に米をつくる（サラワフ・興地カフワフの森）

**CONTENTS**

- インドネシアでの違法伐採と森林破壊 …… 4P
- 世界の森林ニュース …… 9P
  - 「ボルネオ島に行く ⑪ ⑫」 …… 10P
  - 熱帯林破壊のユピー因紙 …… 14P
  - お便り …… 15P

# アマゾン、森を丹もゆ?

スマトラ沖地震の被害で何十万もの人が命を落としました。イラクで毎日、罪も無い人たちが死んでいます。アフリカ、アジアでも沢山の援助を求めています。同時期に、アマゾンの森も確実に減少しています。過去数年の間に、年間約25,000平方キロメートル（東京都の約12倍の面積）もの熱帯林が消滅しました。森は牧場や大豆畑に変わり、牛肉や豆腐、納豆になって日本や、先進国に暮らす人の胃袋を満たします。アマゾンの森は地球上の酸素の三分の一を生産している大事な、地球の肺です。人間は酸素が無くなると3分間で、死に至ります。私たちは次世代が存続するために必要な蓄えにまで、手をつけ貪っているのではないのでしょうか。

支援対象地域は法的に守られているはずの場所ですが、密猟者が不法侵入して、高級家具材になるマホガニーやアロマテラピーの材料になるババコ椰子など、乱伐しています。

熱帯林は一種でも絶滅の危機に瀕しますと、全体の生態系が崩れ、森の崩壊が始まります。今年も、カヤパ族居住地周辺の乱伐跡地約50ヘクタールに、約10,000本のマホガニーの植林を計画しています。1本苗木を植えるのに約600円（苗木代、運搬費、人件費の経費も含め）が必須ですが、資金集めはこれからです。どうぞお願いします！アマゾンの森に緑の子どもが育ち、ジャングルが再生し活性化するために、一人でも多くの方にご協力をお願い致します。アマゾンの森を殖すことは、私たち、そして次世代の命を繋ぐ大事な問題です。

何本分でもありがたく、沢山の方たちからの愛のご支援を、アマゾンの精霊さん共々お待ちしております。

代表：南 研子 さん  
よろしくお返しいます。

## HOW TO HELP - HOW TO HELP - HOW TO HELP

<金費・寄付のお振込先>

郵便振替 00140-3-144187 熱帯森林保護団体

三井住友銀行 東京中央支店 普 7066247 熱帯森林保護団体

## 【ウータン活動報告】

- 2005・3・16 4月1日版読売新聞の違法材掲載文に最終コメント、西岡。
- 3・29 通信「ウータン75号」発送。
- 4・11 FOE J(地球の友)の呼びかけで、ウータンらも同意し【違法材対策要望書】を政府へ提出。
- 4・13 ウータン・ラミン調査会、合同会議でラミン使用企業の未回答社や新規につき依頼文発送へ決める。都道府県等へもラミン・違法材使用のアンケート実施と。
- 4・24 アースデイ大阪に参加。
- 5・20 新たにラミン材使用企業判明、世界一のブラインド企業ハンターダグラス日本、ライオン事務、和弓の製造企業がラミン使用と。
- 5・29 ウータン・ラミン調査会、合同会議でラミン使用企業の未回答社等に9回目発送。
- 6・7 ウータンで10回目【違法材・密輸材、ラミン材の使用・取引停止のお願いとラミン材取引状況について】を新規企業に発送。590社発送。
- 6・19 ウータンでラミン使用の新規企業に【停止のお願い】11回目送付。600社発送中で365社回答、停止回答が263社。
- 6・29 ウータンらで都道府県等に【違法材・ラミン材使用状況】アンケート発送。

『違法なラミン材を買わないで!』キャンペーン報告!

●自治体へのアンケートを送る。

### 違法材・ラミン材などの使用について(質問依頼)

都道府県知事様/主要自治体市長様へラミン材、違法材停止と「使用停止施策」について

- 1、インドネシア産ラミン材は2001年にワシントン条約に登録され、その後2004年10月に同条約のCITES会議で付属書Ⅱに格上げされ、インドネシア産だけでなく全世界のラミン材が原産地証明書、CITES許可書がなければ取引できなくなりました。そのことを貴自治体はご存知ですか。  
A) 知っている。 B) 知らなかった。 C) インドネシア産ラミン材使用が違法と知っていた。
- 2、2003年6月の『違法伐採及び違法に伐採された木材と木製品の国際貿易に取り組むための協力に関する日本とインドネシア政府との間の共同発表・アクションプラン』以降の政府取組みをご存知か。  
A) 知っている。 B) 知らない。 C) 『違法貿易停止への発表・行動計画』のみ知る。
- 3、ラミン材の箒・モップの今年度の発注をされましたか。  
A) 違法と考え、以前から両方発注なし。 B) 大半違法と思い、今年度から発注をやめた。  
C) ラミン材の箒やモップを発注予定だが、販売企業が代替材にしていた。  
D) 清掃委託業者にラミン材不使用を指示する。 E) 清掃委託業者に全て任せ未把握。  
F) ラミン材の箒かモップかを、購入か発注をした。\*購入企業名( )
- 4、貴自治体は、箒・モップ以外の全て(丸棒・角材、額縁等賞状入、フォトフレーム、家具材、鏡、手摺り、ペーパーベッドの回転など)のラミン材使用をやめておられますか。  
A) 2年前依頼より、全ラミン材の使用をやめている。 B) 使用中止を検討中である。  
C) 各部局にまかせ、未把握。 D) 担当者が変わり未把握。 E) ラミン材使用を続ける予定。
- 5、私たちからの『ラミン材停止依頼』に対し、仕入企業や使用企業など約265社が環境面を考慮して【停止・転換】し始めています。もし、貴都道府県で違法のラミンを大量に販売か大量に製造を続けている企業が判明したら、貴職はどのような措置を取られますか。  
A) 停止するよう指導する。 B) 停止の指導した後、『違法材不使用宣言』を取る。  
C) 判明させる力量がなく指導しない。 D) 法的に不明で、何もしない。
- 6、三重県議会で2005年3月に、「違法材停止に関する意見書」を採択しています。貴自治体は、使用材が違法らしいと判明した場合、どのような措置を取られますか。  
A) 直ちに自治体内で使用をやめる。 B) 三重県議会と同様な措置を検討する。  
C) 今年度中に使用停止を含め検討する。 D) 何ら措置をとらない。
- 7、地元材や地元材の認証された国産材の使用は、違法材をなくすために有効とされます。貴自治体はどのような政策を実施されていますか。( )

2005年6月28日 ウーダン/ラミン調査会

## インドネシアでの違法伐採と森林破壊

トグ・マヌルン(インドネシア・フォレスト・ウォッチ)

### 《年150万 ha 消えるインドネシアの森林》

1950—2000年にかけてインドネシアでは森林破壊が際限なく続けられている。

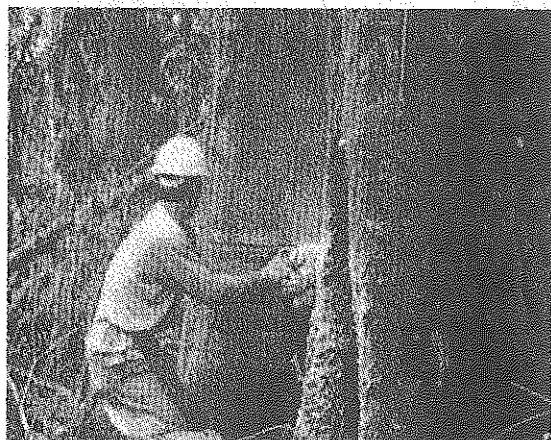
1950年代に森林面積は約16200万 ha あったが、2000年には9800万 ha に減少している。1年に150万 ha ほどの消失だ。これはインドネシアの危機だ!!

これは森林だけの問題でない。政治的、経済的にシステムが歪んだ結果である。とりわけ森林破壊がひどい。しかし、その裏で特定の政治家、そして彼らに癒着した人々が巨大な利益を得ている。これは悲劇である。来日したこの度に日本の皆さまに訴えたい。そして不正をなくすよう日本でも協力してほしい。

特に1985年以降、毎年200万 ha の森林が消失している。これらの土地は、オルタナティブな生産利用とかけ離れたものになっている。森林での違法な密伐採、違法貿易によって、特に森林が破壊されている。

私たちの調査では、少なくとも年に510万 m<sup>3</sup>の違法伐採がされ、密輸は少ない時でも年間130・150万 m<sup>3</sup>、多いときはその10倍近い1500万 m<sup>3</sup>にのぼる。運ばれる先はマレーシア、シンガポール、香港、中国、ベトナム、遠くは日本、EU、アメリカだ。

違法伐採は、どのタイプの森林でも起きている。保全林、保護林、国立公園などでもなされている。



インドネシアの違法伐採



密伐採の後

## 《木材マフィアと違法伐採、そして密輸》

インドネシアの森林破壊による経済的損失は、年間35億ドル以上。巨大な生物域が奪われ、人々は環境サービスもなくし、地域社会が抱える問題は大きい。悪い森林管理と商業伐採が森林をないがしろにし、人々の生活を脅かし、創造性を奪い取っている。

違法伐採を農民が起こすこともあるが、それは小規模であり、木材企業と癒着した政治家・職員・軍・警察による違法伐採、違法貿易が大きな地域で引き起こされ、つまり「木材マフィアとシンジケートがグルになり」、違法貿易がなされている。

これは、合板工場を持つ木材企業が原生林を破壊する商業伐採だけでなく、製材、紙、パルプ産業という分野でも起きている。約3000の違法な製材所がインドネシアにある。

地方を合わせ製材所などの伐採能力は6300万 $m^3$ 、それに対し合法材は1800万 $m^3$ のみ。国内需要はその合法材分にも満たず、木材の過剰生産は明らかだ。この大きなギャップ、生産能力と合法材との差異の大半が違法貿易量である。密輸は今も続けられている。

私たちや他のNGOの調査で、木材消費の80%が正当な伐採・貿易によるものでない。カリマンタン、スマトラ島、西イリアン、マルク諸島など。違法な木材輸出により木材企業や政治家が利益を得て、一方で違法木材が国際的に取引されている。正当な森林管理がなされていない。

インドネシア政府は違法伐採・違法貿易・密輸と厳密に闘わねばならない。私たちは訴えたい。インドネシアの安い違法な木材への要求は、消費国の企業によるところが大きい。違法材・違法貿易は消費国に大きな責任がある。

私たちは今も違法伐採・違法貿易、密輸、そして木材マフィアと闘っている。日本の皆さんも私たちをサポートしていただきたい。そして違法なものに共同行動を組めば、国際社会も変わっていくし、インドネシアも変わっていくだろう。

---

## 止めよう密輸ラミン材、新たにメルバウ材密輸も

アルビ・バレンチノス(Telapak)

### 《日本NGOらでラミン材違法貿易が減りつつある》

ラミン材は今もインドネシアで違法に伐採されている。このラミンは大半が密輸され、マレーシア、シンガポールに運ばれ、中国、アメリカ、台湾、香港、EU、そして一部が日本に輸入されている。

先日、あるジャーナリストが密輸材を追いかけていたら、彼は木材マフィアに見つかり、瀕死の重傷をおった。首を切られる寸前であり、傷は首の後に残り、ペンを持つ片腕を切られたのである。木材マフィアは正に殺人をしようとしていたのだ。しかし、この不正を正すために私たちは、闘い続ける。

ここにいるウータンの西岡さん、ラミン調査会のメンバー、主催者の熱帯林行動ネットワークの小浜さん、FOE Jの皆さんに感謝したい。日本で違法伐採・違法貿易をなくすために闘われ、違法貿易が減ればインドネシアの人々はみんな感謝すると思う。

まずラミンの違法伐採・違法貿易・密輸について話したい。

カリマンタンのタンジュン・プティン国立公園などの保護区域で違法な伐採がされている。それはもう他の森林が破壊され、切る所が無くなったからだ。



**raminの密輸** (左上)インドネシアのラミンがサラワクのルボック・アンツウに運ばれた  
インドネシア→マレーシアへ (右)スマトラ島からマレーシア半島バツ・パハに運ばれる

私たちとEIAは、各地で調査した。そしてラミン材の違法取引・違法貿易も明らかにした。例えばカリマンタンのタンジュン・プティンから違法材が大都会のポンティアナックに運ばれ、一部は海上ルートでマレーシアのサラワク州のセマタンに運ばれ、そこからタンジュン・マニスに輸送される。大半はポンティアナックに運ばれた木材が陸路を通り、サラワク州のルボック・アンツウなどに運ばれ、タンジュン・マニスにトラックが行く。

一方、スマトラ島からは半島マレーシアのポート・クラン、ジョホール・バル、バツ・パハッ、ムアルなどに密輸され続けている。半島マレーシアでも多くの違法なインドネシア材、とりわけラミンなどが運ばれている。

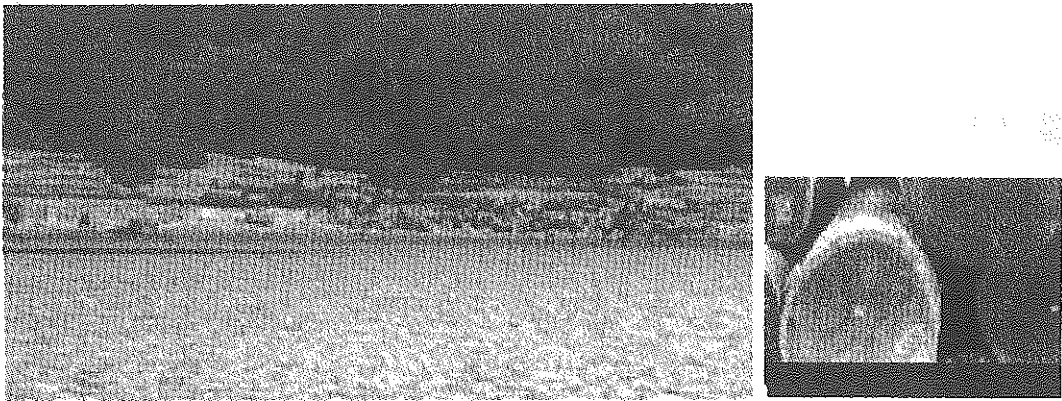
昨日、ウータンの西岡さんと日本の百貨店、木材会社を見てきた。未だに一部の企業によりラミン材が取引されていた。木材会社の人々は名前を変えた私たち2人に話してくれた。

「ラミン材を含め、インドネシアのブローカーが各地の木材企業と連絡し、商品を集めるために船を待たせていると。西岡さんに後で木材企業につき聞いたことだが、ラミン材が東京で売れなくなりつつあるそうだ。大変嬉しい話だ。」

聞いていたが、その集め方は私たちが調査したシンジケートと同用の仕方だった。

百貨店では今もラミン材ベビーベッドのカタログが置かれ、いつでも取寄せられる状況だ。しかし大半のラミン材ベビーベッドは日本から無くなった。だがホームセンターでは、ラミンが今も販売されていた。

どこのラミン材なのか。インドネシアやマレーシアのラミンの現在の自生地は、大半が国立公園内や保護エリアだ。明らかに密伐採!!



(写真/Telapak/西イリアンジャヤ・ピンツニ湾に集められた違法材)

(右・密輸用の merubau 材)

### 《西イリアンに集まる木材マフィア》

今メルバウ材も密輸されていることが分かった。この木もラミン同様貴重なものである。メルバウはぜいたく品で、写真のようにやや暗い色の硬い木材である。

この材は、パプアの西イリアンの原生林に生えている。メルバウの密輸には、ラミン材以上に木材マフィアが非常に絡んでいる。現在100万㎡単位のメルバウの不正貿易が起きている。マフィアのボスは、ジャカルタか、マレーシアの都会、シンガポール、香港など第3国の所にすみ、そこに事務所がある。現地のイリアンに大きな事務所はなく、シンジケートの大ボスに言われて不正取引、密輸を手配するブローカーのような人々が、イリアンを仕切っている。彼らに雇われた軍関係者、地元実力者などが、伐採のサインを送る。なぜなら彼らが一番現場で伐採権を得て、切るのに支障ないか、知っている訳だから。

メルバウは大半が中国に輸出され、かなりの量が同国に密輸されている。それで南京市近くに、その加工する工場が500ほどある。メルバウはフローリング材、家具材、丸棒、デッキ用機などとして販売されている。日本でも販売されている。

## 《違法伐採・違法貿易停止へ！ 消費国の人々と手を組みたい》

インドネシアと中国政府は違法材停止の協定を交わしているのに、中国はそれを無視するのだろうか。国際的な違法伐採・違法貿易対策は、伐採されている国の人々だけでは解決できない。私たちはインドネシア国内で働きかけ、政府へも停止を要請している。しかし消費国の企業の人たちから違法伐採されている木材につき、輸入の要求が高いからだ。

国際的な違法材の停止には、これを上回る力が必要だ。私たちは、日本など消費国の人々と手を組んで、違法材を停止させたい。今までイギリスに拠点があるEIAと手を組み、ラミン材停止に向かうことができた。それが世界に認められるようになってきた。

まだ違法材は、世界に出回っている。不正をなくすため、私たちは今後も頑張りたい。



## 「違法材をなくし、フェアウッドを拡げよう」

中澤健一(FOEJ)地球の友Japan

主催者を代表して発言します。イギリスやアメリカでは企業による公正な木材調達が始まっており、日本での消費者からの取組みが問われています。持続可能材を利用するために、持続可能な森林のあり方を求めねばならないでしょう。まず、《海外で違法に伐採された木材を使わない》、《違法に取引された木材を使わない》、そして《少し高くても持続可能な森林経営のされているところからの材でも利用する》、もし【これらが不正なら、はっきりと利用しない、その企業に違法性を伝える】ということが必要でしょう。

インドネシアから来日したトグ氏、アルビ氏が発言されるように、今も違法材が日本に輸入されており、一般の消費者が知らずに買う、いや企業すらも違法材を知らずに扱っています。

「公正材」、つまりフェアウッドを輸入や販売するなら、企業は【原産地はどこ？】、【伐採の木材企業の状態は？】、【伐採許可の証明書は？】、【輸入時の方法は？】、【毎回子エックするか】、などの点を認識しないでいる場合が多い。木材調達につき、意識が欠如しています。だから現在、企業は、販売の際に消費者に正しい製品のニュースを教えたり、伝えたりできないのです。

それなら、私たちから問いましょう。「あなたの木材はフェアですか。私たちはフェアな木材を求めています。このような人が増えているのです。原産地も内容もご存知なければ購入できません。できるだけ消費者に正確で、良い情報をしらせてください」とPRしようではありませんか。私たちからフェアウッド仲間が増えているとPRして、公正な材の流通を拡げ出すのです。違法材より公正材のほうが良いイメージですし、フェアウッド仲間が増えれば、企業はますます良いものだけを売るといふ仕組みとなるのです。

(文責・西岡)



## 【世界の森林ニュース】

2005年3月～6月

(by西岡)

### 【カメルーン、違法伐採停止へ合意】

3月7日、カメルーン政府は世界資源研究所と「違法伐採」をなくすための森林管理に合意。  
(フェアウッド・ニュースより)

### 【US金融機関、RH違法伐採へ融資停止検討】

アメリカの銀行シティグループは、RH(リンプナン・ヒジャウ)社に対し、全世界の違法伐採止めるように、3月16日融資停止検討と。  
(フェアウッド・ニュースより)

### 【G8環境大臣会合で、違法貿易対策合意】

3月18日、G8(先進8カ国)環境・開発大臣会合で、世界的に広がる違法貿易に各国政府が取組むと合意。内容は、①違法材輸入取引停止への各国施策の強化、②公共調達へ合法材使用、③木材企業に合法木材の取引を促し、自主行動規範の実施・木材取引の透明性を高めるよう働きかけるなど。  
(林野庁等より)

### 【FOEJらで違法伐採対策要望書提出】

4月11日、地球の友 Japan (FOEJ)、ウータン、ラミン調査会らで『包括的な違法伐採対策戦略』要望書を政府に提出。

### 【日本政府、G8へ違法材対策決める】

4月14日、日本政府は7月6-8日のG8首脳会議に向け、違法伐採への解決にむけた具体案を決める。20日にその対策に①基金創設、②生産後の履歴追及システムを確立。(木材新聞)

### 【マレーシア木材連合会ら、違法伐採策批判】

マレーシア林業相立会いでマレーシア木材連合会(MTC)とニュージーランド木材会は、「違法伐採対策のあり方」につき批判表明。  
(New Strait タイムス等より)

### 【インドネシア政府、森林破壊で損失大と】

4月15日、インドネシア森林省は環境コストを含まずとも年間30億ドル以上の損失を違法伐採・森林破壊で受けていると。(JakartaPost)

### 【間伐材・県産材認証利用など進む】

4月1日、北海道庁は4月から間伐材からできた紙を『グリーン購入・特定品』に指定。三重県は3月の『違法材対策意見書』採択につき、県産材認証制度を開始。高知県は県産材利用へ各部署が使用する数値目標を定める施策を表明。長崎県は、県産認証材利用促進策をまとめる。  
一方、木材業界では『木材表示推進協議会』発足させ、樹種・原産地表示決めると。5月10日、全国木材連合会は総会で、①違法伐採問題対処、②産地・樹種表示する木製品の普及などの重点項目を決める。(日刊木材新聞より)

### 【外務省、違法材対策を国際会合で発言】

5月6日、外務省はアジア欧州会合の席で、違法伐採防止を各国に呼びかける。  
(林野庁より)

### 【マレーシア・インドネシア首脳で違法貿易対策最終合意へ】

5月6日、インドネシア副大統領とマレーシア副首相が会合し、違法貿易削減へ最終準備と表明。両国間の違法貿易取締策として、①マレーシア向け木材を扱うインドネシアの港を限定、②それ以外から輸出した全ての物を密輸材としてみならず、等という内容。これで違法貿易停止の道の1つになるだろう。(ペルナマ紙より)

### 【自民党対策チーム、違法材対策提案】

5月13日、自民党・違法伐採対策検討チームは、①政府調達材を合法材で、持続可能な認証材とすること、②違法材につきWTO等の貿易措置で排除すること、③木材原産地からの追跡システムの確立等をG8に向け提案。  
(日刊木材新聞より)

### 【国連森林フォーラム、森林条約決まらず】

6月4日、国連森林フォーラム5回会合、参加国の意見の細部相違で、「森林条約」合意できず。しっかりしてほしい。  
(外務省、FOEJ、グリーン・ピース等)

## ボルネオ島に行く⑪

### 原生林と先住民らの薬草を探

して(8)ブナン人の村へ

アジアNo1、手付かずの森 東 悪男

《判らないブナン語も、通じる心》

原生林の急斜面を登る。

朝日が森を差し、足元の苔がキラリと光る。そよぐ風に揺られる濃緑色や薄緑、少し濃い緑に輝く葉。木々に陽が当たり何色にもなる様は、言葉に言い表せないほど美しい。

先頭のドグは、薬草を直ぐに見つけた。

「スブルイ・プアン(Suburui Puan)。胃薬の葉。」

3mばかり行くと、今度は村長が薬草を見つけ、吹き矢で示す。

「パラツ(Parat)。」と村長。

これは、高血圧に効く葉だとK氏が訳す。

急勾配をどンドン行く。見晴らしが利くところで、休憩。また村長が吹き矢で指す。

「スカリュウ(Sekalieu)。この薬草は精力増強、滋養強壯のもの」と、ドグが説明。

「町で買ったらKgいくらだ？」と私。

「高価で詳しい値段はわからない」とK氏。

次々と薬草を見つける。

タハ(痒み止め)、トボ・レニヤン(目の痛みや充血に効く)、虫除けのロン、ニーブン(衣服を繕う)など、。昨日行った原生林にあったものもあれば、違う薬草もある。メモが書けない。

踏み跡もない原生林を行けば、突然、太陽が当たるところに出た。

▶ パナワット(蛇への薬草)



昨日登った原生林やドグの畑が一望できた。素晴らしい眺めだ。広く原生林が連なる。朝霧が昇る下部の森や、光に輝く森林がきれいだ。

「こんな広大な原生林を見たことがない。これがほんの一部の原生林なら、何と広いのか。すばらしい。」

わたしの言ったことを、K氏は村長に訳している。彼はニコニコして、懐にしまっていたビスケットを出し、「クマン(食べろ)」と。

村長は3日も同じ紺色の服を着ていて、少し臭い。ドグは私の上げたTシャツに着替えているが、汗かきで茶色のシャツは汗臭い。村長とエドはコミカルであるが、ドグは、タフで精悍な顔で男前であり、日本で言えば若い頃の高倉健に似ている。頼りになる奴だ。サダンはとりわけ寡黙。

ビスケットを食べる2分ほど休み、出発。

ドグに替わり、今度は先頭が村長だ。彼は私のために通り難いところを山刀で刈っている。

村長は原生林を昇る途中から、ほとんどニコニコしている。ブナンの言葉が判らなくても、何か心が通じ合えるようだ。

《ペナワットを見つける》

稜線近くまで登る。そこで見つけたのがペナワット(Penawat)。

「葉は毒蛇に咬まれた時に使う。また吹き矢の矢毒に不思議な灌木だ」と、ドグ。

K氏は「覚えているか、日本に呼んでくれてあなたにプレゼントした木片がこれだ。」

「覚えている。ありがとう。」

風がそよぐ。新緑の葉が薫る。樹々の下部の苔から水がしたたり落ちている原生林の中。

稜線まで来た。

「昨日説明しそびれたが、登ってきた谷と反対の谷がバラム川本流の源流域だ。この森は美しいだろう」とドグが言う。

ガイドKは、「すばらしい」と言った途端、嬉しさのあまりか「ウオーーツ」と叫びながら、稜線を駆け下りる。

「写真だ、写真だ」とK氏。

森の中で大の字に手を広げている。

バシヤ、バシヤ、、、。何枚もシャッターを切る。今度はビデオ撮影。もちろん彼もビデオとカメラを取り出し、撮影している。

ドグは「もう少し行けば、もっと美しい光景を見れるよ」と。「エッ」と私とK氏。

稜線沿いに歩く。陽はかなり差し込んでいる。40mあまりの巨木が連なる。大木なのに板根が異常に小さい。なぜだ。多くの動物たちが徘徊して、糞が肥料となり、土壌が肥えているためだろうか。

ガイドのK氏に尋ねても、「判らない。不思議」と嘆声を上げるだけだ。2人とも写真撮影。

今度はバラム川源流と、ドグ、村長やサダンらが住む村を一望できるところに立つ。

「ここだ!! これが私らの森だ」とドグ。

「すばらしい!! とても雄大な原生林だ。写真だけでなく、みんなに見せたいよ」と私。

▼パー 幹は吹き矢に



「この原生林がずっと連なるなら、これはアジアNo1の森だ。マレーシアいやサラワク州にもこれだけすばらしい原生林はないだろう。ここからずっと北も原生林か」と溜め息まじりの私。

ガイドKもサダンもうなずいている。

「僕もこれだけ美しい森は見えていない。妻が生まれたこの北部の森も素晴らしいが、ここはNo1だ。大休止したい」とK氏。

村長は、K氏やドグがこの時通訳しなかったのに、判ったのか、笑顔がくずれている。

村長が先頭を行く。

ほどなくすると立ち停まる。高さ約30mの樹を山刀で切り出した。樹皮を捲る。

「パー(Paa)という。幹は吹き矢にする。樹皮をめくった白い部分は食べられる」と、ドグが説明して、私に試食させた。

「ジャン(美味しい)」

若竹のような味だった。

ドグは、足早に稜線を歩き出す。村の森を見れば、一面に雲が広がり始めていた。

## ボルネオ島に行く⑫

### 原生林と先住民らの薬草を探

#### して(9)ブナン人の村へ

原生林に米を作る 東 悪男

#### 《予感》

村の南の森を蔽っていた雲は、20分経てばかなり払がっていた。遥か北面の原生林は、雲一面になって全貌が見えなくなっている。

反対側のバラム川流域でも、谷あいには霧が湧き上っている。

アジアNo1の原生林を私は見続けた。

朝、光り輝いた原生林はほとんどが濃緑色になり、黒雲が蔽う空の下では、あちこちに霧が払がりはじめた。

「急ごう」とドグ。予感か。

15分ほど稜線つたいをして、先頭のドグが下り始めるとポツポツと雫が落ちてきた。慌ててみんなが下る。

畑が見えた。

「米だ。原生林の中に米が、!」と私が言うと、

「もうすぐ収穫できる。穂の中に実が成っている。私の植えたパディ(米)だ。」

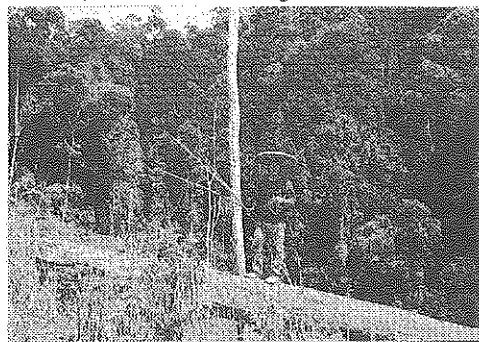
ドグは嬉しそうに、続けて言った。

「原生林の中の倒木が多く倒れたところは空間となって、それで畑にして米を植えた。2月前には取れる。」

「ここは少し焼けた跡が残っている。焼いたのですか」と尋ねた。

「ああ、1時間ほど焼いた。原生林の上部で腐葉分が少ないと思って、少し焼いた。」

#### ▼原生林に米を作る



「もちろん、焼畑の火が原生林へ広がらないようにしたんだ。だから余り大きな面積ではない。焼いたのはここだけ。この米は美味しい。」

これより下部の畑も、他の畑も原生林に種を蒔いたり、植えるだけ。絶対に焼かない。このように植えれば、伐採会社の奴は来ないと思うんだ。予感かなあ。」

「焼畑はしない。原則だ。森の中にコーヒーやパンプキン(南瓜)、シュガーコーン(サトウキビ)などをどんどん植えているんだ。」

「素晴らしい!! こんな方法を採れば、多くの先住民は森を守る大きな手段となる。」

例えば、この土地は、1951年より以前から先祖代々使用してきたところだと言えば良い。みんな利用している慣習地だと示せば、伐採権を得た木材会社も州政府も、手出しできない。すばらしい考えだ。

ここは先住慣習地とはっきり示すことで、仮に裁判となっても勝訴できる。

伐採は排除され、原生林を残せる方法だ」と、私が説明する。

ドグだけでなく村長も、誇らしげに笑っている。サダンも微笑む。

### 《雨が森をつくる》

雨が激しく降り出した。

大きな音を立てて降り出した。あっという間に、村も見えなくなった。

ドグは、すぐに、背負っていた籠から約4m四方のビニールテントの生地を取り出した。

「引っ張ってくれ」とガイドKが指示する。

また、一段と激しくなってきた。稲光がして、直ぐに雷鳴が谷じゅうに響く。

原生林の中の稲作をビデオで撮っていたが、豪雨で急いでザックに入れる。

テントの下から水が流れてきて、私とK氏の靴が濡れる。

村長はまったく平気だった。裸足でずっと原生林を歩いていたから。ドグは私があげたゴムの長靴を履いている。サダンもゴム靴だ。

靴の中まで水が入りだす。

村長が言う。

「森は雨が大好きだ。雨が降るから、人間や動物は水が飲める。そして食物も育つ。森も雨を待っている。雨が降るから、原生林は保全される。

我々には出来ないことだ。人間の文明がいくら発達しても、巨大な森林に雨を降らすことはできない。雨が森をつくるんだ。」

また稲光がする。みんな体を寄せ合う。

テントの上の溜まった雨を取るために、今度はサダンとK氏がテントを引っ張る。

豪雨の音以外、原生林は静まり返っている。

テントの中を見れば、ドグは両膝にもたれたまま、微かな寝息を立てていた。村長とサダンは、にこやかに笑みを浮かべている。

### ▼ 手つかずの森 (奥地カワワワの森)



30分ほどで雨足が緩んできた。

テントの端から外を見る。水滴で稲が光っている。あちこちに草を焼いた跡が残っている。

ガイドKは突然外に出て、

「やったあ、やった！」と谷へ叫ぶ。

テントの中から見れば、遠くの森は見えない。手前の村に近い森には、雲が覗いている。うっすらと清流の川が見え出してきた。

また、テントを叩きつける激しい雨になってきた。熱い雨は痛い。

ガイドのKは、ずぶ濡れになりながら雨の中に立ち尽くしている。ドグはまだ深い眠りのままだ。

豪雨。豪雨だ。

南の雨は気持ちよい。

残りのビスケットを取り出す。午後3時。

雨が小止みになった。村がはっきりと見えだす。サダンはドグを揺すって起こす。

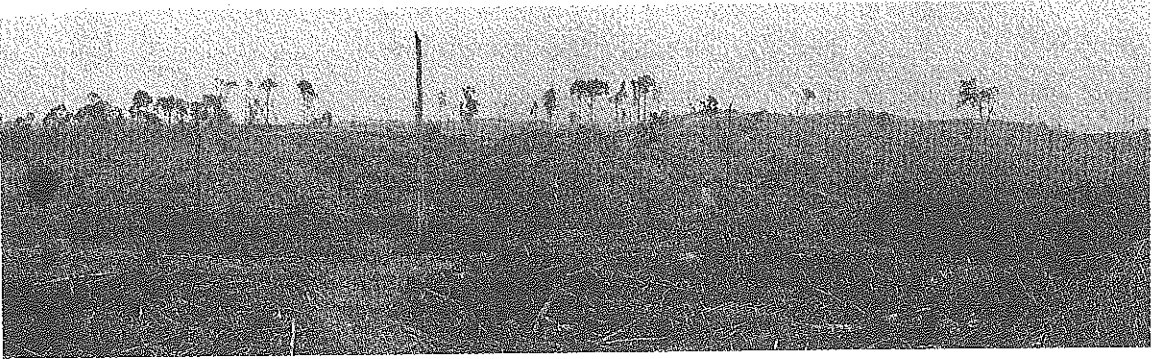
村長がテントを直せと指示を出す。僅かな驟雨。稲の畑の下部にも、畑が見える。

私は最後のタバコに火をつけた。出発だ。

お使いになりますか？

# 熱帯林破壊たっぴいのコピー用紙

日本でも最近増えているインドネシア産のコピー用紙は、アジア・パルプ・アンド・ペーパー (APP)社とエイプリル(Asia Pacific Resources International Holding)社の製品です。この2社の操業には、以下のような問題があります。



## 1. 熱帯林を皆伐している

2. 原料のほとんどが天然林材である

3. 原料に違法材を使用している

4. 地域住民との対立や  
暴力事件を引き起こしている

5. 古紙を全く使っていない

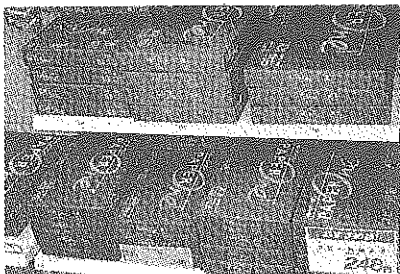
APP社もエイプリル社も、古紙を全く使っていません。

コピー用紙のシェアはすでに約3割！

2004年には、日本国内で販売されているPPC(コピー)用紙の約28%がインドネシア製品になりました。

APP社の製品は、日本では大手オフィス用品通販、大手スーパーやホームセンターのほか、インターネット通販などを通して販売されており、輸入コピー用紙では国内市場の最大のシェアを持っています。

APP社のPPC用紙は「PAPER EXCELPRO」や「PAPER WIDEPRO」のブランド名で販売されていますが、同社の製品であることを明らかにしないために、ブランド名を付けずに販売されているものもあります。



エイプリル社が販売している主要なOA用紙の製品ブランド名は「PaperOne」です。日本国内では、「ペーパーワン」や「エイプリルコピー用紙」などとして、大手スーパーやインターネット通販などで販売されています。

具体的には、森林資源の有効利用になる再生紙や、適切な森林経営から産出された原料を用いた森林認証紙などの利用を提言します。

再生紙: エコマーク、Rマーク商品など  
森林認証紙: FSCマーク商品

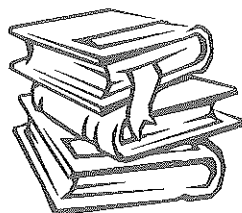


WUTAN への<sup>たよ</sup>お便りから…… (一部略・敬称略)

《会費、カンパを頂いた方々》(2005年3月30日~2005年6月3日) (敬称略)  
 飯高輝 伊東万千子 井上真 H.I 大倉一美 大西裕子 大平浩子 金沢謙太郎 庚由美 小林圭二 田岡めぐみ 田村節子 千代延明憲 津田妍子 中島敏 中司幸則 橋本征二 畑健次郎 福永一美 本田次男 南研子 明周正和 森本泰輔 山内美登利 山川信恵  
 (ありがとうございました)

《お便りから》(敬称略)

☆なぜ、会費等払った人の名前を載せるのか、以前から疑問に思っていました。カンパはまだしも理解できますが。私は希望しないので、載せるという決まりならイニシャルにでもして下さい。  
 \*上記のご意見をいただきました。ウータンでは支援して下さいの方への感謝の念を込めて、また、通常は領収書をお出ししていないので確認していただくためにもお名前を載せてきました。しかし確かに希望されない方がおられるかもしれません。お手数ですが送金時にその旨お書き添え下さい。また他にもご意見がありましたらどうぞお聞かせ下さい。  
 ☆「違法伐採木不使用のキャンペーン」大きな成果ができました。小つづながら、実によく頑張っておられると感じています。引き続き、地道な活動を期待しています。 4/6 (千代延明憲)  
 ☆アマゾンも現状は厳しいです。あきらめずに支援活動を続けていきます。 4/20 (南研子)



読んでみませんか?

井下祥子

『スローライフな未来が見える』

真柴隆弘 河出書房新社発売 1800円

「スローコミュニティ」「スローフード」「スローレジャー」「スローエネルギー」  
 「スローラブ&ボディ」「スローリビング」「スローマネー&ビジネス」

食・衣・遊び・愛情・健康・金・仕事という、人間活動のいろんな場面で、どんなことが可能か、いま少しずつ起こりつつある大きな転換をどう後押ししてやればいいのか。どの項目にも具体的な事例をあげているのが、いい。

最後に「スローサイト」の一覧もある。

\*\*都市が人類を滅ぼす前に/豊かに暮らすために、小さくなる「逆建設」  
 ・・欧米で進む、小さなまちづくりや『食べられる街づくり』都市で耕すシテイファーマーの増加などなど、刺激的な小見出しがなっている。  
 元気の出る一冊。

# HUTAN ACTION SCHEDULE

主催 \* ウーターン/ラミン調査会「フェアな木材調達と違法材停止を」連続講演会

第1回 7/30(土)『違法伐採対策のためのフェアウッド利用を』～欧米、日本の例～

午後1-4時/ 講師\*中澤健一(FOEJ)/ 場所\*アピオ大阪(Tel06-6941-6331)JR 森ノ宮駅下車

第2回 8/13(日)『違法なラミン材を買わないで!』～ 海外での密輸、国内販売と停止の依頼～

午後1-4時/ 場所\* アピオ大阪(Tel06-6941-6331)JR 森ノ宮駅下車  
講師\* 西岡良夫(ウーターン)、柏木美香(ラミン調査会)

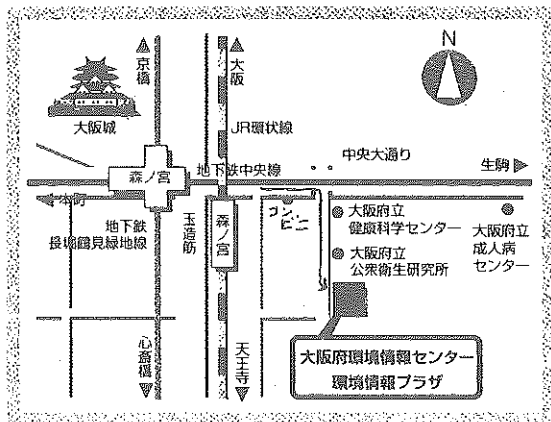
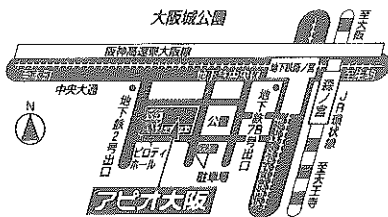
第3回 9/10(土)講演\* 昨年度に続き、日本政府予定、『日本の違法材対策と持続可能な森林のあり方』

(予定変更もあります)午後1-4時/場所\* 大阪府環境情報センター環境情報プラザ(Tel 06-6972-6215)

第①回と②回 ↓ 第③回 →

アピオ大阪 ☎06-6941-6330

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5(市立労働会館)



JR環状線、地下鉄中央線・鶴見線森ノ宮駅から徒歩5分

## ウーターン・森と生活を考える会

【OFFICE】〒530-0015 大阪市北区中崎西1-6-36

サクラビル新館308

「関西市民連合」気付

(HP)

[www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/](http://www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/) Tel.06-6372-1561

【一部】300円 【年会費】4000円

【郵便振替】00930-4-3880

◎購読希望の方は郵便振替で申し込み下さるか、又事務所までご連絡下さい。

◎ウーターン定例会は、毎月、第2、第4火曜日7:00pmより「関西市民連合」事務所にて行っております。